

**【大分県豊後大野市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（合同部活動の推進に関する実証事業）**

自治体名	大分県豊後大野市
担当課名	学校教育課
電話番号	0974-22-1001

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	3 2 9 1 0 人	部活動数	4 1 部活
公立中学校数	7 校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	7 3 4 人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

豊後大野市の運動部活動の現状

小中一貫教育校設置により全町に中学校存続の中、生徒数減少による部活動の廃止が加速。

①生徒数の減少（向こう10年で約10%の減）

②専門性、指導経験の少ない顧問



学校と地域のニーズを踏まえた総合型地域スポーツクラブの検討



朝地フレンドクラブを中心に移行研究

地域移行における豊後大野市の課題

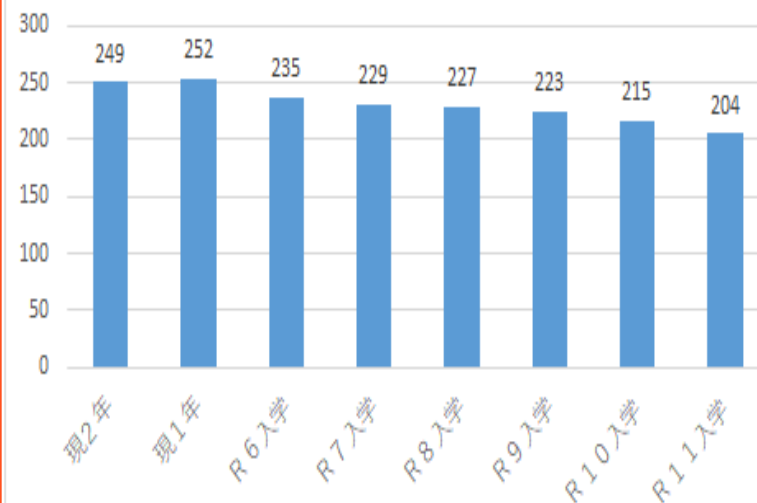
①地域での受け皿確保

②指導者がいない

③中体連出場のための細則への対応

④受益者負担の増加

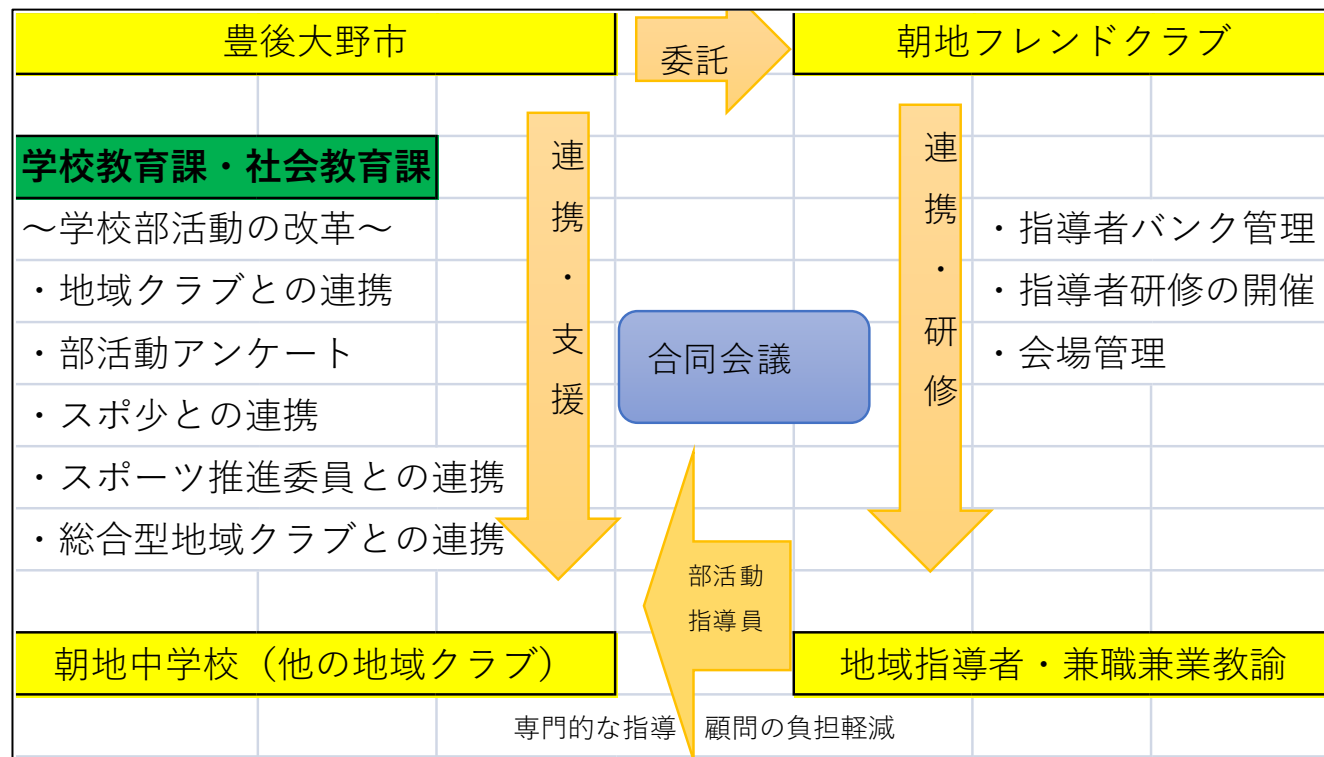
生徒数の推移



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

●教育委員会（学校教育課）

地域クラブとの連携
協議会の開催
内部検討委員会の開催
学校との連携、連絡調整

●教育委員会（社会教育課）

スポーツ推進委員との連携
スポ少との連携
2年後の地域クラブ化に向けての準備

年間の事業スケジュール

- ・内部検討委員会（5月・9月・2月）
- ・教職員への地域移行に向けた方針の周知（8月）
- ・スポーツ少年団関係者への周知（11月）
- ・子どものスポーツ環境のあり方を検討する協議会（6月・11月）の実施
- ・保護者への地域移行についての周知（10月）
- ・顧問、スポ少指導者との協議（12月以降）

2. 実証内容と成果

合同部活動の運営実績

参加校数	3 校	実施した種目	軟式野球、女子バレーボール
合同部活動に取り組んだ部活動数	6 部活		

主な取組例

▼活動概要

参加校名	清川中学校、緒方中学校、朝地中学校
実施した種目	軟式野球、女子バレーボール
1 か月あたりの平均的な活動回数	月 4 回程度（平日 2 回、休日 2 回）
顧問の属性	緒方中学校の教師が顧問を担当
指導者の主な属性	顧問）教師
活動場所	各中学校
主な移動手段	タクシー
1 人あたりの参加会費（年額）	0 円/年
1 人あたりの保険料	生徒 1 人あたり：800 円/年 指導者 1 人あたり：1850 円/年 （スポーツ安全保険）

▼参加校における役割分担

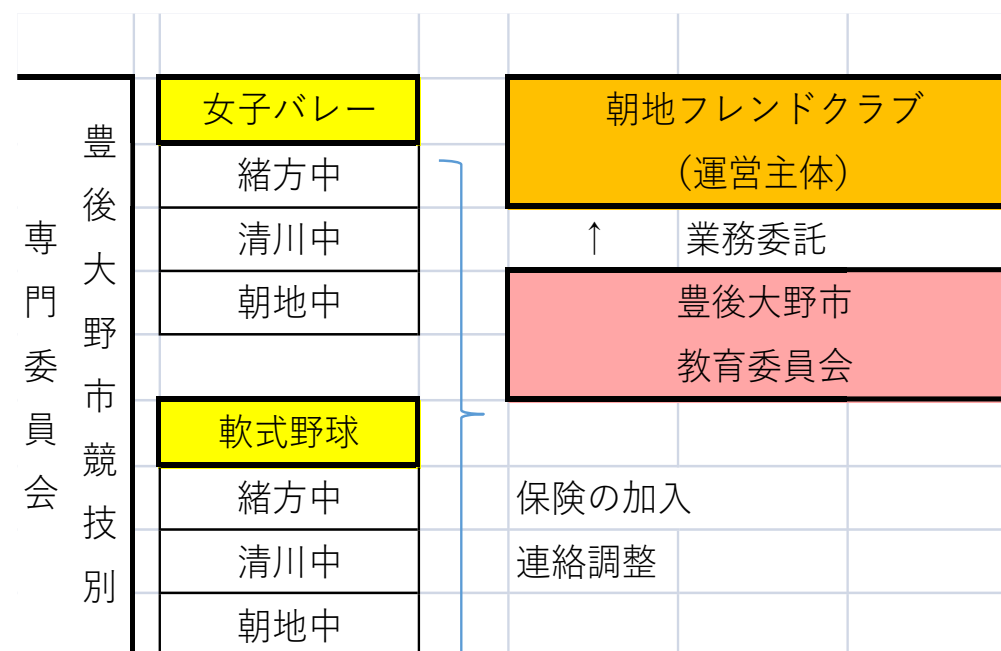
● 緒方中学校【拠点校】

- ・拠点校として顧問教師の配置し、トラブル発生時の現場での初動対応
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

● 清川中学校、朝地中学校

- ・自校の生徒の保険加入手続き
- ・トラブル発生時の自校の生徒・保護者への各種対応
- ・参加校間の定期的な連絡会等の開催・出席

▼運営体制図（合同部活動を実施する際の運営体制）



2. 実証内容と成果

取組内容

取組事項

部活動に入る生徒数の減少から、単独校での部活動運営が難しく、合同部活動による運動機会の保障を行う。

取組の成果

- ・中学校3年生の引退に伴い、部員数が大会参加人数に満たない状況があった。中体連、競技専門部、市教委と協議し、地域移行に向けて緒方・清川・朝地を合同部活動とした。
- ・指導ができる教職員が、緒方中学校所属のため緒方中を拠点とした。
- ・参加校それぞれの学校長による申請を行った。

種目名	男子							女子						
	部員数							部員数						
	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼	三重	清川	緒方	朝地	大野	千歳	犬飼
陸上競技	8							10						
水泳	1			1										
バレーボール	19							21	5	5	5	7	7	7
バスケット	10							19						
軟式野球	27	4	2	2	7	5	3	0	0	0	1	0	0	0
ソフトボール								10						
柔道	6							1						
剣道	2		4	2	2	0		3		0	1	3	2	
ソフトテニス	15						5	8						4
卓球	12	4	9	5	6		10	8	5	10	3	7		
バドミントン	0							6			1			
合計	100	8	15	10	15	5	18	86	10	15	11	17	9	11

特に工夫した事項

地域移行を見据えての、学校の組み合わせを行った。

今後の課題と対応方針

- ・受け皿となる団体を募集していく必要がある。
- ・人数がさらに減少していくと、3つの学校でもチームが成り立たない状況が出てくる可能性がある。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

現在の合同部活動の支援強化

1 合同部活動の実施・支援

- (1) 実施曜日の選定 水、土の週2回
- (2) 実施時期 6～2月
- (3) 時間保障 掃除カット、短縮授業、5校時終了の日
- (4) 移動手段の確保 タクシー 等
- (5) 合同部活動でない曜日の実施日

2 合同活動の指導体制

- (1) 指導者の決定 指導場所、指導者の移動
- (2) 部活動に加入していない子どもの指導
- (3) 合同部活動でない日の各校での部活動体制確立

入部したい部活動

中学校 1年	第1希望	第2希望	第3希望
軟式野球	43	3	8
卓球	41	35	18
バレーボール	39	33	17
ソフトテニス	26	15	23
吹奏楽	20	11	13
バスケットボール	17	23	27
入りたい部活動はない	17	15	58
美術	13	23	16
陸上競技	5	16	7
バドミントン	10	30	15
剣道	6	8	7
ソフトボール	3	8	9
科学文化	3	8	10
柔道	3	1	3
水泳	2	11	10
太鼓隊	1	6	6

6年	第1	第2	第3
軟式野球	35	10	12
ない	29	69	104
バレーボール	25	19	14
美術	25	12	5
卓球	23	18	15
バスケットボール	16	16	11
バドミントン	12	19	12
水泳	12	7	3
陸上競技	10	7	7
剣道	9	8	10
ソフトテニス	8	11	8
ソフトボール	7	2	2
科学文化	3	8	6
吹奏楽	3	10	8
空手道	2	2	2
柔道	2	1	1
太鼓隊	2	6	5

5年	第1	第2	第3
バレーボール	28	14	10
ない	27	46	73
卓球	27	16	18
軟式野球	26	7	5
美術	19	13	10
バドミントン	18	24	21
水泳	15	17	11
バスケットボール	9	12	14
剣道	9	7	6
吹奏楽	8	12	9
ソフトテニス	4	14	16
科学文化	4	5	7
空手道	3	6	2
太鼓隊	3	6	4
陸上競技	3	9	9
柔道	1	1	2
ソフトボール	0	7	3

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



3校が集まっての合同練習の様子



同じユニフォームを着ての練習試合の様子



合同部活動対地域クラブチームとの試合



新人大会開会式の様子

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

今後の学校部活動及び新たな地域クラブ活動について

豊後大野市教育委員会

- 基本方針
- ①生徒の運動機会を保障します
 - ②平日及び休日の部活動を段階的に地域の活動に移行します



地域の
スポーツクラブへ



～令和5年

令和6～7年

令和8年～

学校部活動

(単体の)
部活動

(単体の) 部活動

A 中

B 中

C 中

合同部活動
(例：野球部)

合同部活動・拠点校部活動

↑ 指導
部活動指導員 (地域の人材)

ゴール

平日及び休日の地域移行

予算関係

部活動補助(市)

活動補助
の検討

公的補助(国)

公的補助(国) 未定

地域クラブ活動

地域クラブ活動
(例：朝地地区)

地域クラブ活動

スポーツ少年団
(40団体694人)

↑ 指導
総合型地域スポーツクラブ、民間事業者等

卒団の年齢変更